

聞思

今号の法語

“あたりまえだ”と云って
まだ不足を言っていて生きている
松原哲雄師

松原哲雄師

発行所 光山寺
〒758-0063
萩市 大字山田4553
TEL (0838) 22-1370
https://光山寺.net

親鸞聖人誕生850年・立教開宗800年 団参締め切り迫る

二〇二二(令和五)年にお迎えいたします親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要とは、「親鸞聖人の説き示して下さった浄土真宗の教えに出遇うことがなければ、今の私はあり得なかつたという聖人への感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、聖人のご誕生を祝い、『立教開宗』に感謝する」法要です。萩組では左記の日程で本願寺へ団体参拝の予定です。皆さまぜひ、お誘いあわせのうえ、ご参拝ください。

令和五年(二〇二三) 四月二〜三日(二泊二日)
五月八〜九日(二泊二日)

詳細日程は、本堂設置の案内チラシをご覧ください。第一日程、第二日程ともに若干の空きがあります。また、萩組の団体参拝日程中の四月三日、五月九日の本山法要へ一緒に直接合流参拝することも可能です。その場合には、寺院にお申し出ください。

また、本願寺では個人参拝募集枠(空席状況)をお知らせしており、直接の希望日に参拝も可能です。本願寺ホームページを直接参照ください。以下の手順となります。

- ①宗派公式Webサイトにて募集枠(空席状況)をご確認ください。
- ②お電話にて参拝センター(TEL:075-366-5882)へお問い合わせ。「仮申込み」をお願いします。
- ③「個人参拝申込書」を参拝センターにご提出ください。
- ④参拝センターから「受付確認書」をお届けします。



ご縁を慶び、お念仏とともに

親鸞聖人御誕生
50
立教開宗
800

■婦人会法座の二報告

去る六月二五日・二六日に勤行された光山寺仏教婦人会法座の報告を仏教婦人会会長、山中喜久子さんより頂戴しました。

「みなさま、こんにちは。六月二五日の仏教婦人会総会、六月二五日・二六日の仏教婦人会法座は、皆様のおかげで、無事終えることができました。ありがたうございました。新型コロナウイルス感染症拡大で、思うように活動ができませんでしたが、講師として、京都から元京都女子高校教諭の小池俊章先生をお迎えして、法話をお聞かせいただきました。

また、光山寺仏教婦人会では、今まで、本願寺「子どもたちの笑顔のために募金」の募金活動をしておりましたが、ロシアによるウクライナ侵攻により急遽「ウクライナ緊急支援募金」に活動を切り替えて、ミ「バザー」を開催いたしました。野菜、漬物など、協賛いただいた皆さま、ありがとうございました。

◎バザー売上金 四九、三〇〇円

◎子どもたちの笑顔のための募金箱 五、〇〇〇円

尚、「ウクライナ緊急支援募金」には、バザー売上に仏教婦人会からの補助金を加えて十万円を、同じく、「子どもたちの笑顔のために募金」には5万円を、本山を通して送金いたしました。ありがとうございました。

この度、ご法座準備のためのお掃除に、初めて参加の方が、何人もいらしてくださりました。大変にうれしく思います。

実のところ、今まで、法座準備にご協力いただいた方々も、徐々にお年を召され、少しずつ、参加人数が減少傾向にありました。足腰の痛みがありながら、お掃除に参加して下さった方もおられ、頭が下がります。感謝申し上げます。よろしくお願いたします。合掌」

※募金箱は本堂内の焼香機の横に設置しております。



あなたの思い
貧困で苦しむ
国内外の子どもたちに届けます
Dana for World Peace
協賛(西本願寺)

光山寺行事案内

関連行事には
カレンダーに◎印を!

令和四年度九月〜十二月までの光山寺行事予定一覧です。万障繰り合わせてご参加ください。

★光山寺法要関連

九月二八・二九日(水・木曜)

秋季永代経法要(講師、福田康正師)

※御斎は簡易弁当となります。

詳細は寺院からのご案内をご確認ください。

十一月二八・二九日(月・火曜)

報恩講法要 (講師、岡智徳師)

★山口教区・萩組関連

九月三〇日(日曜) 萩組連研(泉福寺)

十月三〇日(日曜) 仏教讃歌のつどい(山口別院)

十一月一日(金曜) 萩組連研(西生寺)

十一月二五日(金曜) 山口別院にて帰敬式

十一月二六〜二八日(土・月曜)

山口別院報恩講法要(山口別院)

講師 塚本慈願師 ※萩組関係者参拝日は二七日

★子ども会(土曜学校) 午前九時(本堂)

※現在 中断中 一月 子ども報恩講

★仏教青年会関連 午後三時(庫裏)

十二月三一日(土曜) 除夜会(富くじ抽選あり)

★仏教壮年会関連

十月二三日(日曜) 午後二時 ゴルフ大会(白水小)

十一月二八日(月曜) 午後七時 報恩講夜座・役員会

十二月十七日(土曜) 午後六時 光山寺仏教壮研修会・忘年会

★仏教婦人会関連

九月二六日(月曜) 午前八時 秋季永代経の清掃

十一月二六日(土曜) 午前八時半 報恩講の清掃

★親鸞聖人讃仰会 午後八時(本堂)

十月十七日(月曜) ※本年最後

★お経の練習会(旧、礼讃の夕べ) 午後八時(本堂)

九月十日(土曜) 十月八日(土曜)

★雅楽練習会 午後七時半(庫裡)

九月二五日(日曜) 十一月六日(日曜)

★仏教讃歌コーラス練習会 毎月第三木曜日(本堂)

※現在 中断中

背号集、お知らせ

今年も別院にて帰敬式

山口別院の報恩講に合わせて今年も帰敬式が執り行われます。帰敬式は、阿弥陀さま・宗祖親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、今後力強く生きていくことを誓う生涯ただ一度の大切な儀式で、「おかみそり」ともいいます。式は原則としてご本山でご門主によつて執り行われ、三帰依文を唱えて、おかみそりを受け、法名をいただきます。(山口別院では、椅子席にて帰敬式を受式できます)日時は十一月二十五日(金曜日)、午後一時より受付、午後二時より勤行・執行。冥加金は成人一万円・未成年五千円を当日持参ください。



申込み方法は、お寺まで氏名・生年月日・住所を必ず十月七日までにお知らせください。また、この度の帰敬式では法名の内願(本人がご希望の法名を付ける事)が可能です。九月九日までとなっています。尚、ご本山での帰敬式は従来どおりに毎日二回行われています。

報恩講 夜の座

光山寺の報恩講日程は、今年も十一月二十八日(月)・二十九日(火)の二日間の予定。朝・昼夜の合計五座の法座が勤修される予定です。日程の関係上、仕事などで聴聞が難しい方々のために、ご講師の宿泊される場合に限って二十八日には夜の座が開かれます。今年の報恩講ではこの夜の座が十一月二十八日午後七時より開かれます。本年のご講師の先生は、子どもにも分かりやすいお話をしていただけかと思えます。また、夜の座には雅楽演奏も加わる予定です。尚、夜の座が仏教壮年会の研修をかねていただきますので、壮年の方々には万障繰り合わせの上ご参加ください。

萩市仏教会の電話テレホンサービス

萩市仏教会(五ヶヶ寺)が協力して、「萩こころの電話テレホンサービス」を行っています。これは旧萩市内寺院が協力して、毎週若手僧侶を中心に一週間の間、テレホン法話をおこなっています。担当と内容は一週毎に変わります。二回に一回は浄土真宗僧侶の担当です。電話番号0838-25-7710で二十四時間聞く事ができます。料金は電話代だけで、約三分となっております。

法語募集のお知らせ

萩組門徒推進員連絡協議会では、浄土真宗のみ教えを押し所とさせていただく私たちが、日々の生活の中で気づかせていただいた阿弥陀様のほたらき、お念仏が受け継がれていく法語を募集しています。字数は二十五字以内。令和四年十一月三十日までに、真宗寺院か下記メールアドレスへ投稿ください。seil.yuutetsu23@silver.plala.or.jp (会長、野村精一まで)

除夜会で富くじ抽選会を開催

大晦日恒例の除夜会では、今年も富くじを実施いたします。例年、除夜会は大晦日午後十一時半すぎより開催されます。平成二十六年より、鐘をつかれる方全員に富くじ抽選券を配布し、除夜会終了後の新年のお勤めの「修正会」に引き続き、富くじ抽選会を実施しています。一昨年迄は、新型コロナの影響で、当選者発表は掲示板にて行いましたが、今年もコロナ状況により、お勤め終了後に当選発表する予定です。詳細はホームページをご覧ください。

冬の児童作品募集

本願寺では毎年一月九日から十六日までの間、親鸞さまのお徳をたたえようと、ご苦勞を偲ばせていただく「御正忌報恩講法要」が勤まります。例年、この法要期間中に「全国児童生徒作品展」を開催いたします。今回は、二〇二三年春にお迎える「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」の期間中にも、作品の展示をいたします。

私たち一人ひとりには、仏さまの教えに育てられています。「念仏者の生き方」や「私たちのちかひ」を通して、自己を見つめ、阿弥陀さまや親鸞さまへの感謝の気持ちを作品に表してみましよう。たくさんのお友達をさそって、みなさんの得意な部門に出品してください。

作文・詩

テーマ「課題」題は自由です。二〇二三年に親鸞さまのご誕生八五〇年を迎えます。親鸞さまのご生涯や、阿弥陀さまのみ教えを聞いて、生きることのよさや「いのち」の尊さを考えてみましょう。

今、私たちの生活は、大きく変わってきています。私たちがともによりよく生きる環境をつくりあげるためにどうしたらよいか、身近な生活や体験を通して感じた人のやさしさ・ぬくもり・感謝の心などを作文にしてみましよう。

- 小学生 B4縦書400字詰原稿用紙二枚以内
中学生 B4縦書400字詰原稿用紙三枚以内

※原稿用紙の1行目に「題」、2行目に「単位名(団体名)」および「学年」、3行目に「氏名・ふりがな」を必ず明記してください。

絵画

課題はありませんので自由に描いてください。(A3・A4・B5・版面も可)。四切(38cm×54cm)以内(全学年共通)。名札を作品下部中央に取れないようにつけてください。

書言

幼児Ⅱひらがなもしくはカタカナ1字で自由に書いてください。

- 小学1年生Ⅱ「おや」 小学2年生Ⅱ「一生」
小学3年生Ⅱ「み仏」 小学4年生Ⅱ「平和」
小学5年生Ⅱ「如来」 小学6年生Ⅱ「聖人」
中学生Ⅱ「往生浄土」

※学年・氏名は、自筆で左側に書くこと。ただし、低学年の場合は姓または名前だけでもよい。園児・小学生半紙(タテ33cm×ヨコ24cmに限る)書体は楷書。中学生、画仙紙半切四分の一の大きさ(タテ68cm×ヨコ17.5cm)書体は楷書もしくは行書。名札を作品下部中央につけてください。

表彰

「特選」「入選」「佳作」各学年若干名

出品方法 十月二十五日までに光山寺迄お届けください。作品は返却いたしません。

法語(『伝道』98号巻頭言より)

「生きていくために不可欠なもの」とはなんだろうか? 食事や睡眠あたりがすぐ思い浮かぶ。が、待てよ、それを言うならまず水や空気も必要だ。そうすると、水や空気の組成を司っている地球の自然そのものが重要であり、その地球を地球たらしめているのは太陽で……以下、どこまでも遡れる。

ところが、そんな壮大な物思いに耽っている余裕がなく、次々に襲い来る生命の危機に立ち向かっていかねばならなかったはずの太古の昔から、人類は「芸術」「宗教」といった生命維持それ自体にはおおよそ寄与することの無さそうな「表現」という行為と常に共にあった。

水不足のときには新たな水源を探すよりも、村総出で雨乞いの儀式を執り行い、焚き火の煙で空を覆う雨雲を、高所からまいた木の葉や砂で降り注ぐ慈雨を「表現」した。

どんなに生存の危機が迫っても、人類は今日まで「表現」を手放さなかつた。「生きていくために不可欠なもの」だけでは生存できない、というのがむしろ人類の本質なのかもしれない。

では、私が「よりよく生きていくために不可欠なもの」とは一体なんだろうか?